

1. School Management Review 教師の日？

2-3. 夏休み特別企画！ 2017年度学校経営セミナー 前半フレイバック

4. コミュニケーションのツボ ～第5回 アクティブ・リスニング①～

2017年8月吉日
No.41

School Management Review

教師の日？

6月1日の日本経済新聞に次の記事が掲載されていました。

「政府の教育再生実行会議は、家庭や地域社会の教育力を高める方策や教員の負担軽減策を盛り込んだ提言を安倍晋三首相に提出した。子供が家族と過ごせるよう、夏休みなどの一部を別の時期にずらして大型連休とする『キッズウイーク』や、学校と地域の結びつきを強める『教師の日』の創設も求めた。

提言は、学校教育の現場では教師の多忙化が頂点に達しようとしている、と指摘。教員の働き方改革を進めるため、家庭や地域との役割分担が重要とし、部活動への外部指導員の活用や学校業務の情報通信技術（ICT）化を進めるとした。」

この教育再生実行会議の提言は「自己肯定感を高め、自らの手で未来を切り拓く子どもを育む教育の実現に向けた、学校、家庭、地域の教育力の向上」というタイトルでまとめられており、「次世代の学校・地域創生プラン」を実行する上で必要不可欠な取り組みをまとめたものと位置付けられています。

ところで、この提言にある「教師の日」とはどのような日なのでしょう。ユネスコは毎年10月5日を「教師の日」と定めているようですが、教育再生実行会議の提言には次のように記載されています。

「国は、学校に通う子供やその保護者のみならず、地域住民らが教師の担っている重要な職責に対して理解を深めるきっかけとなるよう、新たに『教師の日』を設けるとともに、地方公共団体等と連携・協力しながら、各種のイベントを行う。」

学校にはどこか閉鎖的なイメージがあり、教員の仕事について一般的には正しく認知されていないようにも感じるため、教員の方々が日々どのような仕事をしているのかを地域の方々に正しく知ってもらい、それをきっかけとして地域との連携を図ることができれば非常に良い取り組みであると思います。

まだ提言の段階ですから具体的な内容についてはわかりませんが、これまでの学校の在り方や教員の働き方を大きく変える可能性がある取り組みですので、今後の動向には注目したいですね。





2017年度学校経営セミナー 前半プレイバック

弊社では、「ひと」を活かし、「しくみ」を活かすをテーマとして、2017年度の学校経営セミナーを開催しております。経営力の強化にお役立ていただけることはもちろん、ご参加いただく皆様方どうしのつながりを構築できるように内容も工夫しております。今年度はすでに3回のセミナーを開催しておりますので、今回はその様子を振り返ってみたいと思います。

①2017年4月21日開催

保護者・地域から信頼される 学校教職員のための接遇・ビジネスマナー研修

【講師】株式会社ワイズコンサルティング
代表取締役 吉田 俊也
木村 滋

学校をブランディングする上で、教職員の方々の接遇やビジネスマナーが今後は非常に大きな要素になると感じていました。そんな折、昨年度に訪問させていただいたある私学の事務職員様からのご要望もあり、弊社にとってはチャレンジングな内容ではありましたが、万全の準備を整えて本講を開催いたしました。

接遇やビジネスマナーといえ、その範囲は非常に広く、実際に身に付くまでには相当の時間も必要です。そこで本講では、「明日からすぐに使えること」にフォーカスし、挨拶やお辞儀、名刺交換などに代表されるような「何となくは知っているけど、実はちゃんと教わったことがない」といった接遇・ビジネスマナーを実際に体を動かしていただきながら学んでいただきました。



参加者全員でお辞儀の練習中です<(_ _)>

多くの参加者の方々に高い評価をいただき、本講を開催してよかったと感じたとともに、少しでも皆様の不安の解消のお役に立てることができたのではないかと感じております。

なお、大変ご好評をいただきましたので、9月8日に本講の再実施を決定いたしました。楽しみながら接遇に関する知識を身につけていただくことができますので、お時間に余裕がございましたらぜひご参加ください。

②2017年5月12日開催

すてきな幼稚園をつくろう！ 幼稚園管理職の仕事とは？

【講師】株式会社ペア・エモーション
代表取締役 梨本 洪珪 氏

弊社では、これまで主に小中高の学校種をお持ちの学校法人様を対象としたセミナーを開催してまいりましたが、今回初めて幼稚園に特化した内容のセミナーを開催いたしました。

昨年のセミナーでも大変好評をいただきました株式会社ペア・エモーション代表取締役の梨本さんに再びご登壇いただき、幼稚園管理職の大きな役割である「人を育てること」の重要性について、語り口は穏やかながらも熱く語っていただきました。

幼稚園においては人間関係が大きな経営課題になりがちであるにも関わらず、それをどのように解決すればいいのかわからない、といったケースが多いように感じます。そのような状況に陥らないために、あるいは陥ったときに管理職としてどのようなことが必要なのかという点について、本講には多くのヒントがありました。

頂戴したアンケートにも、「マネジメントとリーダーシップの違いをきちんと知ることができ、良かった。そして人材育成の大切さも分かり良かったです。」とのご意見があり、ご参加いただいた皆様にとって、多くの気づきがあった内容だったのではないかと思います。



和気あいあいとしてとても和やかな雰囲気でした♪

③2017年6月9日開催

残業と長時間労働を “本気で”改善するための方法

【講師】株式会社ワイズコンサルティング
代表取締役 吉田 俊也

昨今、様々な業界で大きな問題となっている長時間労働ですが、当然、学校や幼稚園も例外ではありません。長時間労働を抜本的に解消することは簡単なことではありませんが、“本気で”取り組めば必ず改善することができるはずです。

長時間労働を助長するのは、いつの間にか築かれていた「風土」であり、その根底には管理職の「評価」があります。表面的な取り組みだけでは抜本的な是正を図ることは難しく、“本気で”改善するためには、「意識の变革」がまずは何よりも重要であることをお伝えいたしました。

本講では、弊社セミナーの特徴の一つでもあるグループワークを数多く取り入れて進行しましたが、各グループとも議論が非常に盛り上がり、このテーマに対する皆様の関心の高さをうかがい知ることができました。



各グループで議論が盛り上がっています！

頂戴したアンケートには、「個々の話が、自校の問題解決の糸口となった。」や「意識の改革ということに目が開かれました。」といったご意見があり、本講から多くの気付きを得ていただけたのではないかと感じております。また、主催者として何よりも嬉しかったのは、グループでの議論を通じて、参加された皆様どうしで大いに盛り上がりいただけたことです。

今後もセミナーの内容を充実させることは当然としてご参加いただく皆様方どうしのつながりができる場としてもご満足いただけるよう努めてまいります。

☆☆☆好評受付中！☆☆☆

2017年度学校経営セミナー 今後の開催予定

学校経営を取り巻く課題の総点検

【日程】2017年8月4日（金） 15時～17時

【講師】株式会社ワイズコンサルティング
木村 滋

【内容】社会情勢を踏まえながら、学校経営を取り巻く諸問題についてわかりやすく解説いたします。

保護者・地域から信頼される 学校教職員のための接遇・ビジネスマナー研修

【日程】2017年9月8日（金） 14時～17時

【講師】株式会社ワイズコンサルティング
代表取締役 吉田 俊也
木村 滋

【内容】学校・幼稚園の教職員としての心構え、接遇・ビジネスマナーの基本と応用を身に付けていただきます。

学校法人改革！ 人事考課・学校評価・事業計画活用法

【日程】2017年10月6日（金） 14時～17時

【講師】株式会社ワイズコンサルティング
代表取締役 吉田 俊也

【内容】人事考課や学校評価、事業計画を形骸化させることなく、学校経営力を最大限に向上させる活用方法をお伝えいたします。

【参加費】各回、1名様につき**2,000円**（消費税含む）

【定員】各回、**30名**（先着順）

【会場】梅田パシフィックビル6階
NSEリアルエステート梅田店
〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-5-10

※各セミナーの詳細およびお申込みにつきましては、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.ysmc.co.jp/seminar/>

学校経営に関連する情報を好評発信中！

学校経営ブログ「寝ても覚めても学校のこと。」<http://ysconsult.hatenablog.com/>

☆6月の閲覧数No.1記事は「中1生の英語学習に関する調査より」（2017年6月21日掲載）



組織の活性化を図る上で欠かすことのできないコミュニケーション。
そんなコミュニケーションをより効果的なものにするためのちょっとしたツボをご紹介します。

第5回 アクティブ・リスニング①

第1回で、コミュニケーションとは「言語と非言語の2つの手段による双方向の情報伝達」とお伝えしましたが、自分が話し手となるとときには相手が聴き手となり、相手が話し手となるとときには自分が聴き手となることでコミュニケーションが成立します。

相手の話をしっかりと聴かずに見当違いな返答をしたり、お互いが好き勝手なことを言い合っているようなときにはコミュニケーションは成立しません。コミュニケーションを効果的なものにするためには、互いが相手の話をしっかりと聴く技術が必要です。

その技術こそが「アクティブ・リスニング」と呼ばれるコミュニケーションの重要な技法なのですが、ただ相手の話を聴くためだけの技術ではないというのがポイントです。

●アクティブ・リスニングとは？

アクティブ・リスニングとは、アメリカの臨床心理学者カール・ロジャースが提唱したカウンセリングにおけるコミュニケーション技法のひとつで、日本語では「積極的傾聴」と訳されています。

「傾聴」とは相手の話に耳を傾けて熱心に聴くことですが、「積極的傾聴(=アクティブ・リスニング)」とは言語だけでなく非言語の情報も積極的に注意深く読み取り、感じ取り、理解することです。

つまり、話し手が話しやすい状況を聴き手が作り出すことによって、話し手が本当に伝えたいことを聴き手が無理なく引き出してあげるといった技術で、管理職が部下とコミュニケーションをとる際には必須の技術と言えます。

●アクティブ・リスニングの具体的な技法

アクティブ・リスニングには、主に以下のような具体的な技法があります。

- ✓うなづく
- ✓相づちを打つ
- ✓話をさえぎらない
- ✓繰り返す(オウム返し)
- ✓まとめる
- ✓表情を豊かにする



どの技法もそれほど難しくはないようにみえますが、これらを正しく意識的に行うだけでコミュニケーションはより効果的なものになります。

それぞれの技法の具体的な用法については次号で詳しく説明しますので、次号もお見逃しなく！



未来へつなぐ、夢がある。

株式会社ワイズコンサルティング／ワイズ税理士・診断士事務所

TEL (06) 6484-7513 FAX (06) 6484-7518 E-mail: info@ysmc.co.jp

URL: <http://www.ysmc.co.jp>(会社) <http://www.ystax.jp>(事務所)

Facebookページ: <https://www.facebook.com/ysconsult>